

寝たきりになって 寿命を縮めないために…

地域の状況と当院の取組み

当院の所属する「賀茂地区（1市5町）」では高齢化が急激に進んでおり、高齢化率が40%を超えています。加齢による「骨粗鬆症」をきたす患者さんが増えるとともに、歩行能力が衰えることから、「転倒による骨折のリスク」のある患者さんが増加しています。

当院では整形外科常勤医師（岡林医師）が2024年4月に着任した事に伴い、地域の二次骨折（脆弱性骨折を発症した患者さんが、再び骨折を起こすこと）防止を目的として、「骨折リエゾンサービス（FLS）チーム」を結成致しました。

医師をはじめ、「看護師・薬剤師・理学療法士・診療放射線技師・医療相談員等」がチームとして、患者さんの「生活の質」を維持するよう医療サービス等を提供してサポートをしていきます。

骨折リエゾンサービス（FLS）とは・・・

リエゾンとは「連絡係」「連絡窓口」「つなぎ」という意味のフランス語で、FLS（Fractur Liaison Service）の目的は、骨粗鬆症が原因で「脆弱性骨折（ぜいじゃくせいこっせつ）（※）」を発症した患者さんに対して、再び骨折を起こさないように医療従事者等が医療サービスを提供することです。

※ **脆弱性骨折**：骨量の減少や骨質の劣化によって骨強度が低下し、軽微な外力（立った姿勢からの転倒した程度）によって発症する骨折のこと

患者さんへの医療サービス提供

一度脆弱性骨折を起こした患者さんが適切な治療を実施されない場合、連鎖的に骨折を起こし、寝たきりや要介護等につながる危険性が高まり、健康寿命を縮めることにつながります。

当院では、脆弱性骨折である「大腿骨近位部骨折（足の付け根の骨折）」の手術をされた患者さんに対する骨粗鬆症の治療開始率や治療継続率を高め、リハビリテーションの視点から転倒予防を実践することにより、骨折の連鎖を防ぐことを目指しています。

具体的には、以下の医療サービスを提供致します。

- ・ 大腿骨近位部骨折に対して可及的速やかに観血的手術を実施
- ・ 骨粗鬆症に対する骨密度検査及び血液検査の実施
- ・ 「ロコモ度テスト」による運動機能評価、転倒リスクチェックを実施
- ・ 骨粗鬆症に対する薬物療法、運動療法等の実施
- ・ 二次骨折予防を目的とした転倒予防の指導・・・等

